

議事録

名 称	第2回山ノ内町観光・商工事業審議会
日時、会場	令和8年2月4日(水) 10:00~11:30、山ノ内町役場4階401会議室
出席者	参加者：13名(敬称略) 会長：高木幸一郎、副会長：片桐由香子、石井正生、春原厚子、竹節みどり、徳竹栄子、関拓郎、小松和喜、若林陽一、平井義高、小林修、萩原敏夫、佐々木正明 事務局：経済振興課(田村、秋元) 第一企画株式会社(丸山、柳沢) 傍聴者：1名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 (1) 第4次山ノ内町観光交流ビジョン(案)について (2) その他 4 その他 5 閉 会
発言内容	2頁～

1. 開会

2. あいさつ（会長）

3. 会議事項

（1）第4次山ノ内町観光交流ビジョン（案）について

*事務局から、（素案）に対する意見について対応施策を説明。

*全体を通して意見交換を行う。

発言意見 ※要約

委員：観光交流を担う人材の育成について、これから人口減少に伴って労働力を確保するためにも外国人材の定住施策も必要になってくるのでは。

事務局：冬季間の一時的な転入ではなく定住していただける施策も重要だと考えている。定住施策については担当課にて進める。

委員：町内の宿泊等の中で外国人宿泊者はどのくらいか、また、スキー場利用者、2次交通、電車、バス、タクシー等の利用者のうち、外国人が占める割合はどのくらいかを掌握する必要があるのでは。

事務局：町内の観光入込者数、外国人の宿泊者数については町や県の調査で把握できるが、交通機関等をどの国の方が利用されているかは調査できていない状況。よりよい調査方法含め検討していきたい。

委員：志賀高原に行くバスが満杯で途中でなかなか乗れないということがある。

委員：上林地区では大量の分別されていないゴミが発生している。

委員：ゴミ問題については、町内全域で条例化や罰則化が必要ではないか。

事務局：上林スノーモンキーパークバス待合所には、分別できるゴミ箱を設置しているがまだ足りない状況かと思う。町関係部署だけでなく事業者を含めた関係者の連携が必要であり、施策の中でも展開していければと思う。

委員：後継者問題は山ノ内町の場合は高齢化もあり深刻な問題である。

事務局：今年度、県と商工会と連携して事業承継のアンケート調査を実施した。譲渡を検討したいという回答については後継者の確保について、県や商工会と連携を続けていきたい。

委員：外国の方が空き家等を購入することについてのガイドラインが必要ではないか。

委員：法規制は難しいところもあるが、ガイドラインは必要であり悩ましいところだと思う。

委員：上林スノーモンキーパークバス待合所の開館時間を延長したほうがよい。（トイレ利用）

事務局：直接トイレに入れないということについて、トイレを増やすことは難しいが時間を延長することは少なからず可能かと思うので相談してみる。

委員：湯田中駅前ロータリーの導線を整理し、安全に利用できるようにしてほしい。

*計画書（案）の内容のほか、当町の観光における現状に対する意見や要望などの発言があった。施策で対応できること、関係各所との連携により実現可能性があること、事業者等において対応いただくことなど、自助、共助、公助の方針のもとに進めていく。

（2）その他

今後の予定として、パブリックコメントの実施を経て答申を行うことを説明した。全体で議論が必要な案件以外は正副会長に一任することで了承を得た。